

施策評価シート

施策番号【3-2】

評価年度	令和6年度		事業実施年度	令和5年度	施策主管次長名	小野田 浩 司	
施策番号	3-2	施策名	交通事故や犯罪のないまちをつくろう			総合計画掲載頁	104～107
主担当部名	総務部						
関連課名	防災安全課、福祉課、産業振興課、道路河川課						

1 総合計画の目標指標

PLAN & GOAL（中間値と最終目標値の確認）

取組分野1		交通安全	R5	R10
指標名	市内での人身交通事故件数		中間値	目標値
指標の定義	1年間の市内での人身交通事故件数		250件以下	220件以下
取組分野2		防犯	R5	R10
指標名	市内での犯罪発生件数		中間値	目標値
指標の定義	1年間の市内での犯罪発生件数		490件以下	440件以下
取組分野3			R5	R10
指標名			中間値	目標値
指標の定義				
取組分野4			R5	R10
指標名			中間値	目標値
指標の定義				
取組分野5			R5	R10
指標名			中間値	目標値
指標の定義				

2 成果指標

DO & REPLAN（実績を計上し計画値を再設定）

指標①	取組分野1		交通安全						
	成果指標名	交通安全に係る教室や啓発活動などの実施回数	単位	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	
			回	45	29	38	47	46	
			指標設定の考え方	市民の交通安全意識の高揚を図るため、交通安全に関する教室や啓発活動などを実施する。					
			把握方法	一般市民や子どもたちを対象として実施した交通安全に係る教室や啓発活動などの回数					
対象	市内全市民								

指標②	取組分野2 防犯								
	成果指標名	市内の防犯灯と防犯カメラの合計設置基(台)数	単位	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	
			基(台)	2,543	2,651	2,668	2,719	2,783	
	対象	防犯灯と防犯カメラ	指標設定の考え方	防犯対策を推進するため、市内に防犯灯や防犯カメラを設置する。					
			把握方法	市内に設置した防犯灯と防犯カメラの合計数					

指標③	取組分野2		防犯						
	成果指標名	防犯に係る教室や啓発活動などを実施した回数	単位	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	
			回	19	4	8	20	18	
	対象	市内全市民	指標設定の考え方	市民の防犯意識の高揚を図るため、防犯に関する教室や啓発活動などを実施する。					
			把握方法	一般市民や子どもたちを対象として実施した防犯に関する教室や啓発活動の回数					

指標④								
	成果 指標名		単位	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績
	対象		指標設定の 考え方					
			把握方法					

指標⑤								
	成果 指標名		単位	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績
	対象		指標設定の 考え方					
			把握方法					

3 施策の評価

ANALYSE & CHECK(分析・評価)

施策の分析（現状の確認と近隣調査）		
施策の現状	・交通安全では、各世代への交通安全教室の開催や立哨活動、店頭啓発活動などを実施し、近年の市内での交通人身事故件数は各年での増減はあるが、長期的には減少傾向にある。 ・防犯では、地域の自主防犯パトロール隊活動や、防犯カメラの設置費補助事業などを実施し、近年の市内での犯罪認知件数は一時的に増加したものの、長期的には減少傾向にある。	
	成果向上に向けての市民と行政の役割分担	市民 ・自分の身は自分で守る「自助」、地域で助け合う「共助」という考え方に立ち、家族ぐるみ、地域ぐるみで交通安全、防犯意識の高揚に努める。 ・行政や警察と連携して交通事故や犯罪のないまちづくりを進める。 行政 ・交通事故や犯罪について市民への情報提供、交通安全、防犯に関する教室や啓発活動を実施する。 ・自主防犯活動に対する支援を行い、「自助」、「共助」を推進する。 ・市民や警察と連携して交通事故や犯罪のないまちづくりを進める。
近隣市町との比較	・豊田市では「ぴかっとわたるくん」の設置や防犯パトロールの強化を積極的に進めている。また、他の市町においても、それぞれの地域性や考え方に基づいた運動や啓発等の施策を実施している。	

施策の評価（活動の振り返りと課題の明確化）	
令和4年度以前の活動	・交通安全では、各世代への交通安全教室の開催や立哨活動、店頭啓発活動、歩行者保護モデルカー活動などを実施したほか、自転車乗車用ヘルメット購入補助事業を実施し、ヘルメット着用率の向上を図った。 また、横断者安全明示装置(ぴかっとわたるくん)を設置し、横断歩道での自動車の停止率の向上を図った。 ・防犯では、行政区への防犯カメラ設置費補助金の補助に加え、個人への防犯カメラ設置費補助金の補助を開始し、地域防犯力の向上に努めた。 ・特殊詐欺対策機器購入等補助金を開始し、高齢者の犯罪被害抑止を図った。
令和5年度の活動内容	・交通安全では、園児、児童への交通安全教室の開催や立哨活動、などを実施した。 ・横断者安全明示装置(ぴかっとわたるくん)を設置し、横断歩道での自動車の停止率の向上を図った。 ・特殊詐欺対策機器購入等補助金を実施し、高齢者の犯罪被害抑止を図った。 ・行政区及び個人への防犯カメラ設置費補助金を実施し、地域の防犯力の向上を図った。 また、三好ヶ丘駅、黒笹駅の駐輪場に防犯カメラを設置し、自転車盗の発生防止を図った。
積み残し課題等	・交通安全では、横断者安全明示装置(ぴかっとわたるくん)の認知度を上げるなど、横断歩道での自動車の停止率を向上させる必要がある。 ・防犯においては、特殊詐欺の巧妙化やふりこめ詐欺、キャッシュカード盗など、様々な手口の犯罪に対し、対応方法等の周知、啓発を行う必要がある ・自転車盗件数が増加しつつあるため、市民による対策の意識が向上するよう、警察と連携した啓発を進める必要がある。

4 活動計画

ACTION & PLAN(目標を達成するために起こす行動)

令和6年度以降の施策目標達成に向けての取組の方向性	・交通安全に関しては、こどもから高齢者まで全ての世代の交通安全意識を高めるため、各世代での歩行者、運転者などの立場に合わせた啓発等を展開していく。 ・防犯に関しては、市民や地域、警察、行政が連携し一体となって活動し、人やカメラによる見守りなどへの支援を行い犯罪の抑止を図るとともに、多発している犯罪の情報提供や、防止策などの周知、その他防犯に係る啓発活動を行うことで、市民の防犯意識の向上を図っていく。 ・小学校において防犯ワークショップを開催し、こどもの防犯への関心を高めていく。
施策目標達成に向けての令和6年度の活動内容	・こどもから高齢者までの全世代の交通安全、防犯に対する意識や知識が向上するよう、啓発・教育を引き続き実施していく。 ・交通安全では「自転車乗車用ヘルメット購入費補助事業」によるハード面の充実、「歩行者保護モデルカー活動」や交通安全教室等によるソフト面の充実を継続して実施していく。 ・「ぴかっとわたるくん」の使用啓発を関係する学校の協力を得ながら行っていく。 ・防犯では、高齢者を対象とした特殊詐欺を未然に防ぐ対策機器の設置費等の補助を引き続き行う。 ・個人の防犯カメラ設置に対する費用補助を引き続き行い、防犯カメラ設置台数を増加させる。 ・警察と連携し、自転車盗防止に対する市民の意識が向上するよう、啓発活動を行っていく。